

決算説明会資料



2022年3月期

2022年5月

証券コード 6730

株式会社アクセル

代表取締役社長 松浦 一教

1

2022年3月期の業績 2023年3月期の業績計画

執行役員 管理グループGM
植野 悦匡

3 | 2022年3月期 連結業績の概要

(単位：百万円)

	'21/3 連結実績	売上比	'22/3 連結実績	売上比	増減額	増減率
売上高	8,999	100%	10,666	100%	1,667	19%
売上原価	5,907	66%	7,150	67%	1,242	21%
売上総利益	3,091	34%	3,516	33%	425	14%
販管費	2,555	28%	2,677	25%	122	5%
研究開発費	1,472	16%	1,520	14%	48	3%
営業利益	536	6%	839	8%	302	56%
経常利益	705	8%	1,001	9%	296	42%
親会社株主に帰属 する当期純利益	670	7%	865	8%	195	29%

営業外収益

NEDO助成金収入
138百万円を計上

1株当たり当期純利益

1株当たり当期純利益
80.05円

配当性向50%

期末配当
1株当たり40円

4 2022年3月期 連結売上高の概要

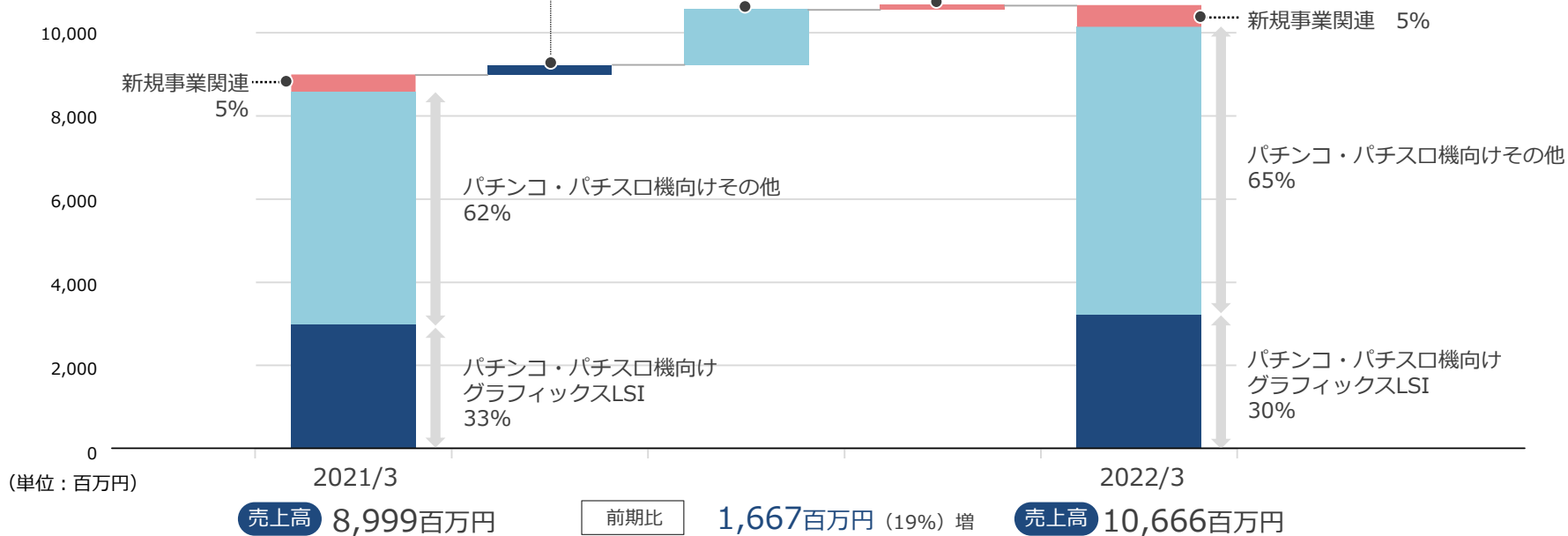
グラフィックスLSI販売数	40万個	➡	44万個
市場規模（非液晶機含む）	120万台	➡	174万台
リユース率	25%	➡	35%
シェア	約50%	➡	約50%

市場環境の補足

- 新規機種への入れ替え需要により市場規模は拡大
- リユースを含めた市場シェアは横ばい

■ パチンコ・パチスロ機向けその他
メモリモジュール 大幅な増収、その他 増収
メモリモジュール販売個数
71万個 ➡ 77万個 ※高単価製品の販売増

■ 新規事業関連（組み込み機器向け含む）
AI支援サービス伸長

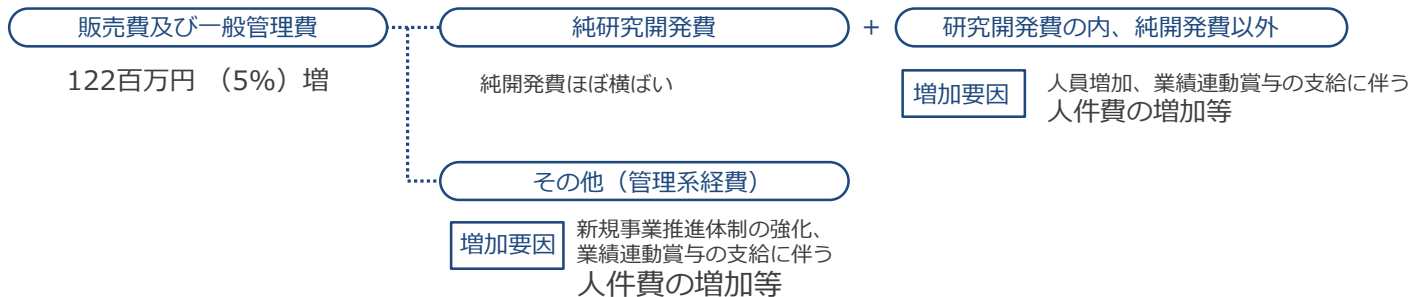


5 | 2022年3月期 連結販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費 2,677百万円（前期比122百万円 5%増）

（単位：百万円）

	'21/3 連結実績	構成比	'22/3 連結実績	構成比	増減額	増減率
販管費合計	2,555	100%	2,677	100%	122	5%
研究開発費	1,472	58%	1,520	57%	48	3%
内、純開発費	460	18%	470	18%	9	2%
内、純開発費以外	1,011	40%	1,050	39%	38	4%
その他	1,083	42%	1,156	43%	73	7%



6 | 2022年3月期 連結セグメント情報

	'21/3 連結実績	'22/3 連結実績
全社業績	売上高 : 8,999百万円 営業利益 : 536百万円	売上高 : 10,666百万円 営業利益 : 839百万円
LSI開発販売関連 パチンコ・パチスロ機向け製品	売上高 : 8,583百万円 セグメント利益 : 1,655百万円	売上高 : 10,144百万円 セグメント利益 : 2,007百万円
新規事業関連 組み込み機器向け製品 機械学習/AI、ミドルウェア、 ブロックチェーン、セキュリティ	売上高 : 416百万円 セグメント損失 : △495百万円※	売上高 : 522百万円 セグメント損失 : △545百万円※
調整額 セグメントに配分しない全社費用	全社費用 : △623百万円	全社費用 : △623百万円

※営業外収益にNEDO助成金収入を計上しており、実質のセグメント損失は'21/3は△375百万円、'22/3は△406百万円

新規事業関連

主に機械学習/AI領域の伸長により前期比 25% の増収

スタートアップ事業であることを鑑み、規模拡大を優先しセグメント損失は増加

7 2022年3月期 連結財政状態

(単位：百万円)

	'21/3末 連結	構成比	'22/3末 連結	構成比
流動資産	9,994	90%	11,010	90%
現金・預金	7,913	71%	9,097	74%
売掛金/契約資産	924	8%	1,039	8%
商品及び製品	1,076	10%	771	6%
その他	80	1%	101	1%
固定資産	1,138	10%	1,264	10%
資産合計	11,132	100%	12,274	100%
流動負債	1,021	9%	1,605	13%
固定負債	39	0%	39	0%
負債合計	1,061	10%	1,645	13%
純資産合計	10,071	90%	10,629	87%
負債・純資産 合計	11,132	100%	12,274	100%

現金・預金

1,184百万円 増
キャッシュ・フロー計算書にて説明

売掛金/契約資産

114百万円 増
期末月の販売状況による増加

商品及び製品

304百万円 減
主に半導体需給ひっ迫の影響

固定資産

126百万円 増
主に投資有価証券、繰延税金資産の増加

流動負債

	'21/3末	'22/3末
買掛金	756	1,094
未払法人税等	48	136
未払消費税等	37	109
その他	179	265

8 2022年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	'21/3 連結実績	'22/3 連結実績
現金及び現金同等物の期首残高	8,071	7,913
現金及び現金同等物増加（△減少）額	△158	1,155
営業キャッシュ・フロー	379	1,622
投資キャッシュ・フロー	22	△157
財務キャッシュ・フロー	△560	△308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	28
現金及び現金同等物の期末残高	7,913	9,097

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前純利益	1,000百万円
棚卸資産の減少	311百万円
仕入債務の増加	337百万円
売上債権の増加	△114百万円
法人税等の支払	△72百万円

投資キャッシュ・フロー

投資有価証券の取得	△137百万円
敷金保証金の差入	△19百万円
投資事業組合からの分配	34百万円

財務キャッシュ・フロー

配当金の支払い	△334百万円
---------	---------

9 | 2023年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	'22/3 連結実績	売上比	'23/3 連結計画	売上比	増減額	増減率
売上高	10,666	100%	11,300	100%	633	6%
売上原価	7,150	67%	7,970	71%	819	11%
売上総利益	3,516	33%	3,330	29%	△186	△5%
販管費	2,677	25%	2,870	25%	192	7%
研究開発費	1,520	14%	1,590	14%	69	5%
営業利益	839	8%	460	4%	△379	△45%
経常利益	1,001	9%	580	5%	△421	△42%
親会社株主に帰属 する当期純利益	865	8%	500	4%	△365	△42%

売上高

セグメント別の売上高計画

LSI開発販売関連 10,600百万円 (実績比4%増)
(3月末受注残：12,957百万円) ※

新規事業関連 700百万円 (実績比34%増)

※半導体市況の需給ひっ迫から、顧客サイドで積極的な先行発注
上記受注残には'24/3販売予定分も含まれる

売上高～売上総利益

プラス要因 仕入単価上昇を受けた販売価格への転嫁

マイナス要因 一部製品の仕入単価上昇
(半導体需給のひっ迫による単価の見直し等)

全体として売上総利益率は4Pt低下

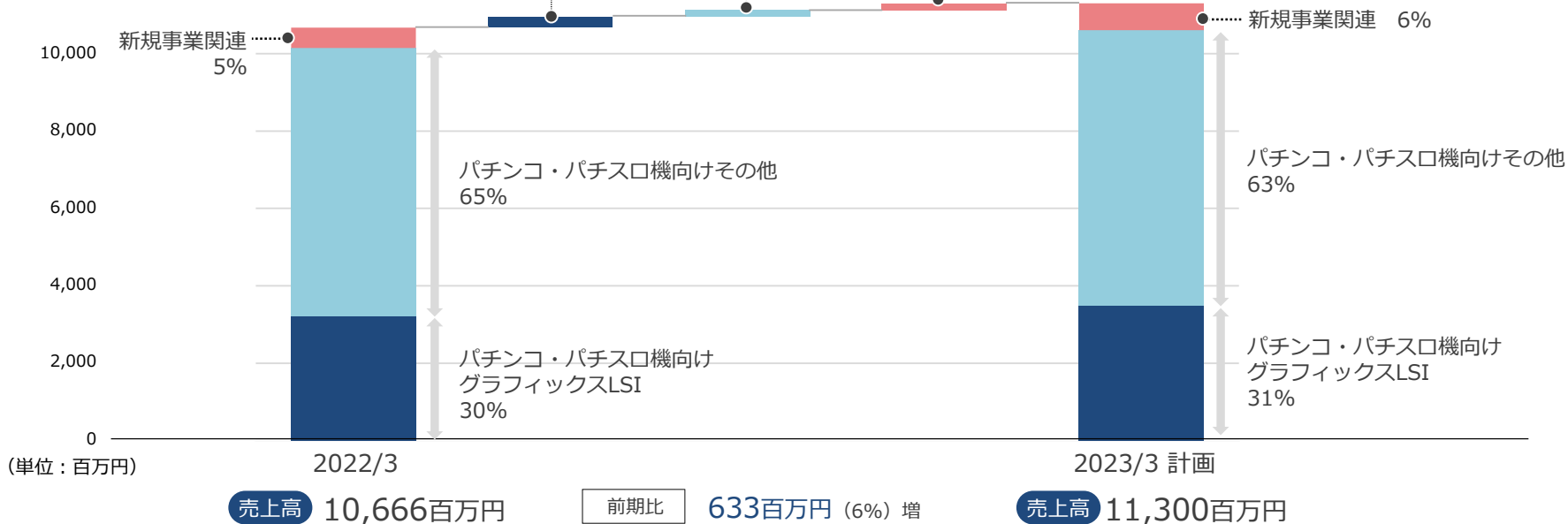
10 2023年3月期 連結売上高の予想

グラフィックスLSI販売数	44万個	➡	45万個
市場規模（非液晶機含む）	174万台	➡	160万台
リユース率	35%	➡	30%
シェア	約50%	➡	約50%

市場環境の補足

- 新規機への入れ替え需要後の短期的な反動減懸念
- 次世代遊技機器（スマートスロット等）の販売開始

■ パチンコ・パチスロ機向けその他	メモリモジュール 横ばい、その他 増収
メモリモジュール販売個数	77万個 ➡ 78万個
■ 新規事業関連（組み込み機器向け含む）	AI支援サービス伸長



11 配当予想の公表

期末配当予想を公表

配当方針（配当性向50%：連結決算）に則り配当額を算定

'22/3 実績		'23/3 計画	
1株当たり純利益	80.05円	1株当たり純利益	46.17円
1株当たり配当額	40円	1株当たり配当額	40円 (うち、記念配当※ 16円)
連結配当性向	50.0%	連結配当性向	86.6%

※上場20周年記念配当

記念配当を除いた連結配当性向は52.0%

2

東証新市場区分の選択と新体制への移行

代表取締役社長
松浦 一教

13 東証新市場区分の選択

東証新市場区分の選択 (2021年12月)

スタンダード市場を選択

一次判定結果

「流通株式時価総額」の項目がプライム市場基準に未達

市場選択

上場維持基準を充足していない状況を踏まえたうえで、現在の事業形態や中長期的な成長戦略等を総合的に検討した結果、スタンダード市場を選択

今後

企業価値向上経営を実践し、将来的にプライム市場を視野に事業展開

14 新体制を決議（株主総会にて取締役選任議案承認後発足）

氏名	新役職、担当 (株主総会後の取締役会で決定予定)	旧役職、担当（2022年3月末時点）
松浦 一教	代表取締役 会長	代表取締役 社長
斉藤 昭宏	代表取締役 社長	代表取締役 副社長
客野 一樹	常務取締役 事業開発グループ ゼネラルマネージャー 技術グループ アルゴリズムチーム管掌	取締役 新規事業推進担当 ゼネラルマネージャー 技術グループ アルゴリズムチーム管掌
岸本 貴臣※	取締役 営業グループ ゼネラルマネージャー	執行役員 営業グループ ゼネラルマネージャー
菊地 篤志※	取締役 技術グループ ゼネラルマネージャー	執行役員 技術グループ ゼネラルマネージャー
西坂 禎一郎	監査等委員（常勤）、独立社外取締役	監査等委員（常勤）、独立社外取締役
三村 勝也	監査等委員、独立社外取締役	監査等委員、独立社外取締役
鈴木 真巨	監査等委員、独立社外取締役	監査等委員、独立社外取締役
五十島 滋夫	監査等委員、独立社外取締役	監査等委員、独立社外取締役

※新任取締役

3

今後の成長戦略

代表取締役副社長
齊藤 昭宏

16 新体制の発足：代表取締役（社長）の異動

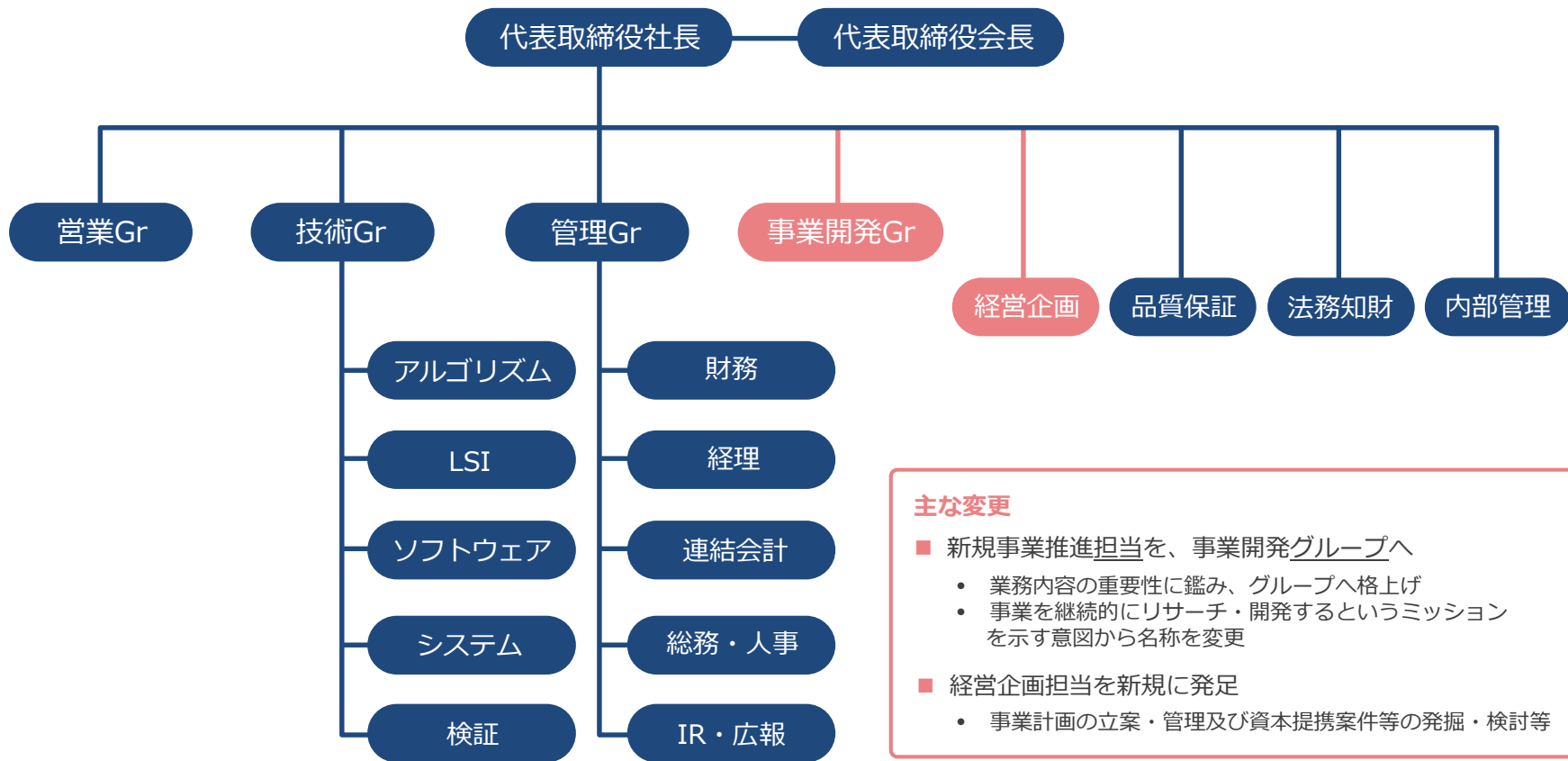


齊藤 昭宏 (さいとう あきひろ)

1966年8月4日生 **出身** 神奈川県

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 1989年4月 | 新日本製鐵株式会社（現日本製鐵株式会社）入社 |
| 2002年1月 | 当社（株式会社アクセル）入社 |
| 2004年4月 | 当社営業グループシニアマネージャー |
| 2006年6月 | 当社取締役営業グループアシスタントゼネラルマネージャー |
| 2010年6月 | 当社取締役営業グループゼネラルマネージャー |
| 2012年6月 | 当社代表取締役副社長営業グループゼネラルマネージャー |
| 2018年6月 | 当社代表取締役副社長営業グループ、管理グループ管掌 |
| 2019年5月 | ax株式会社取締役（現任） |
| 2020年4月 | 当社代表取締役副社長（現任） |
| 2022年6月 | 当社代表取締役社長（就任予定） |

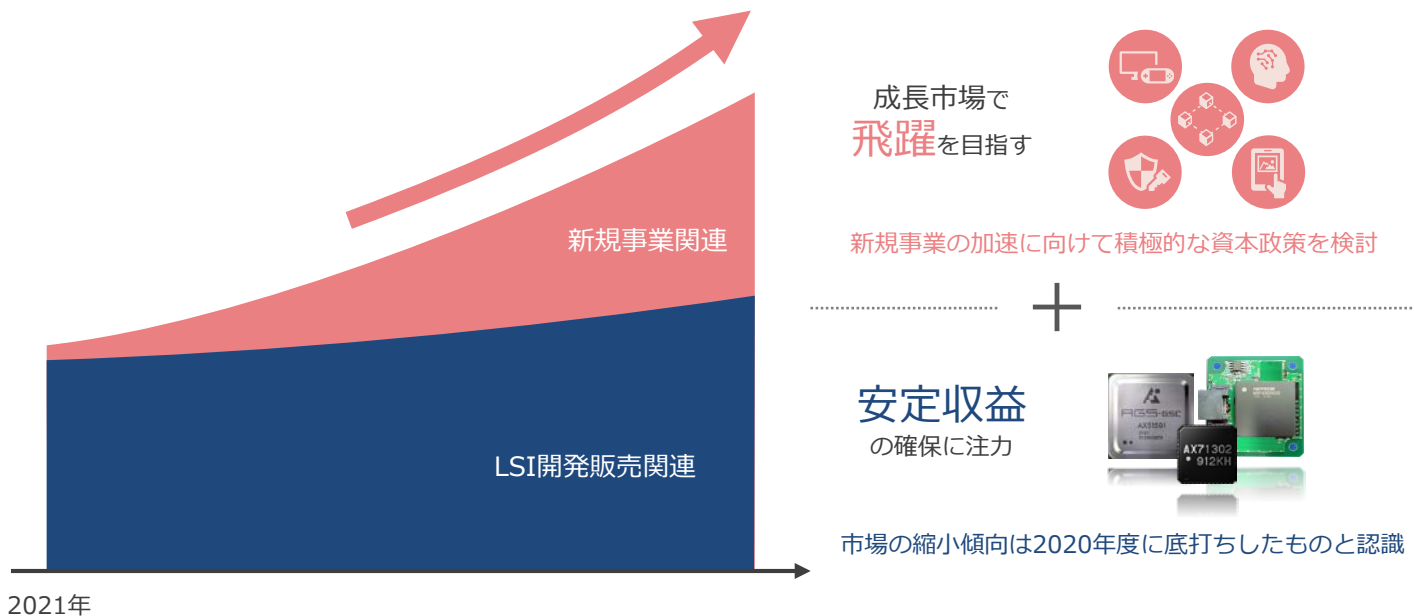
17 新体制の発足：新規事業の加速を企図して組織変更を実施



18 新体制の発足：アクセルグループの基本戦略

LSI開発販売関連（パチンコ・パチスロ機市場）は安定収益の確保に注力、
新規事業関連で持続的な成長・飛躍を目指す。

新規事業関連を中長期的にLSI開発販売関連と同程度の規模に育成することが目標

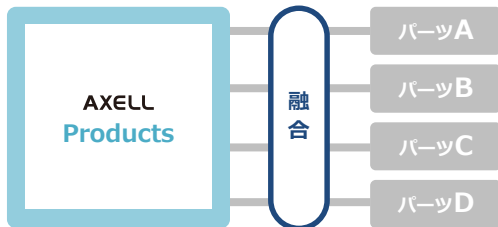
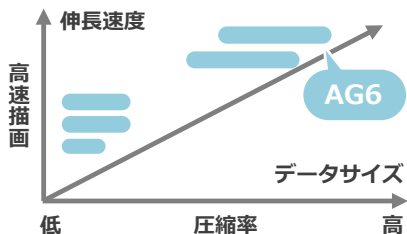


19 既存事業：パチンコ・パチスロ機市場での強み分析

Product Innovation

臨場感のある映像表現の実現
顧客のシステムコストの低減

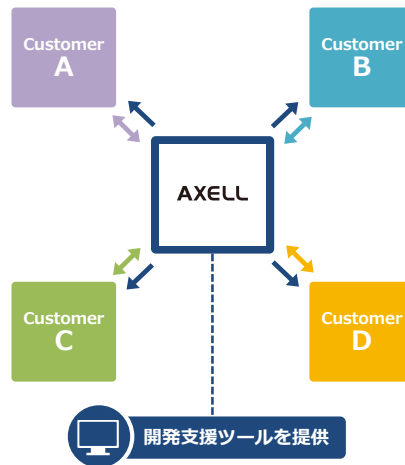
- 独自の動画圧縮伸長技術
- CPUなどの複数機能のワンチップ化



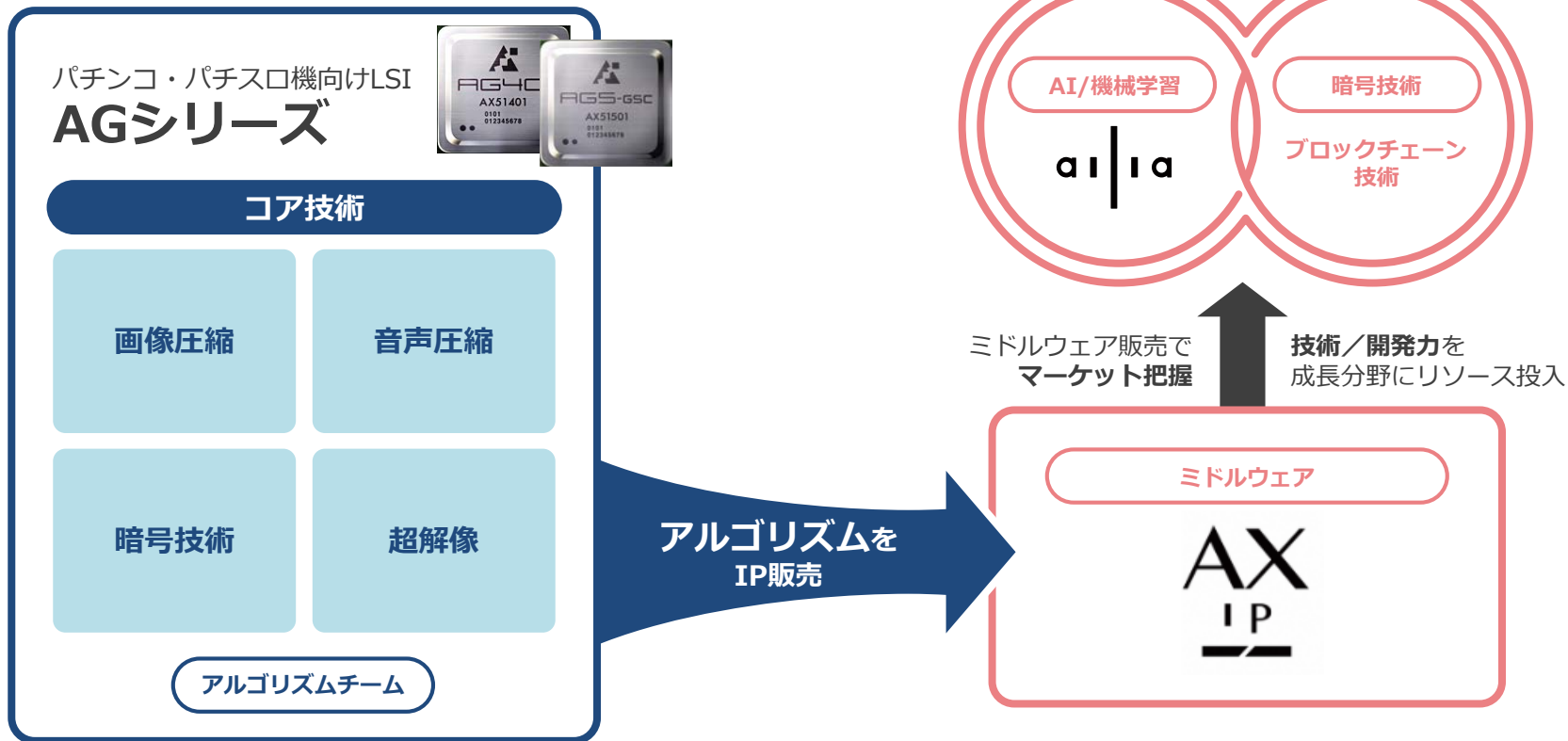
Customer Intimacy

遊技機開発に特化した製品の
タイムリーな提供が可能に

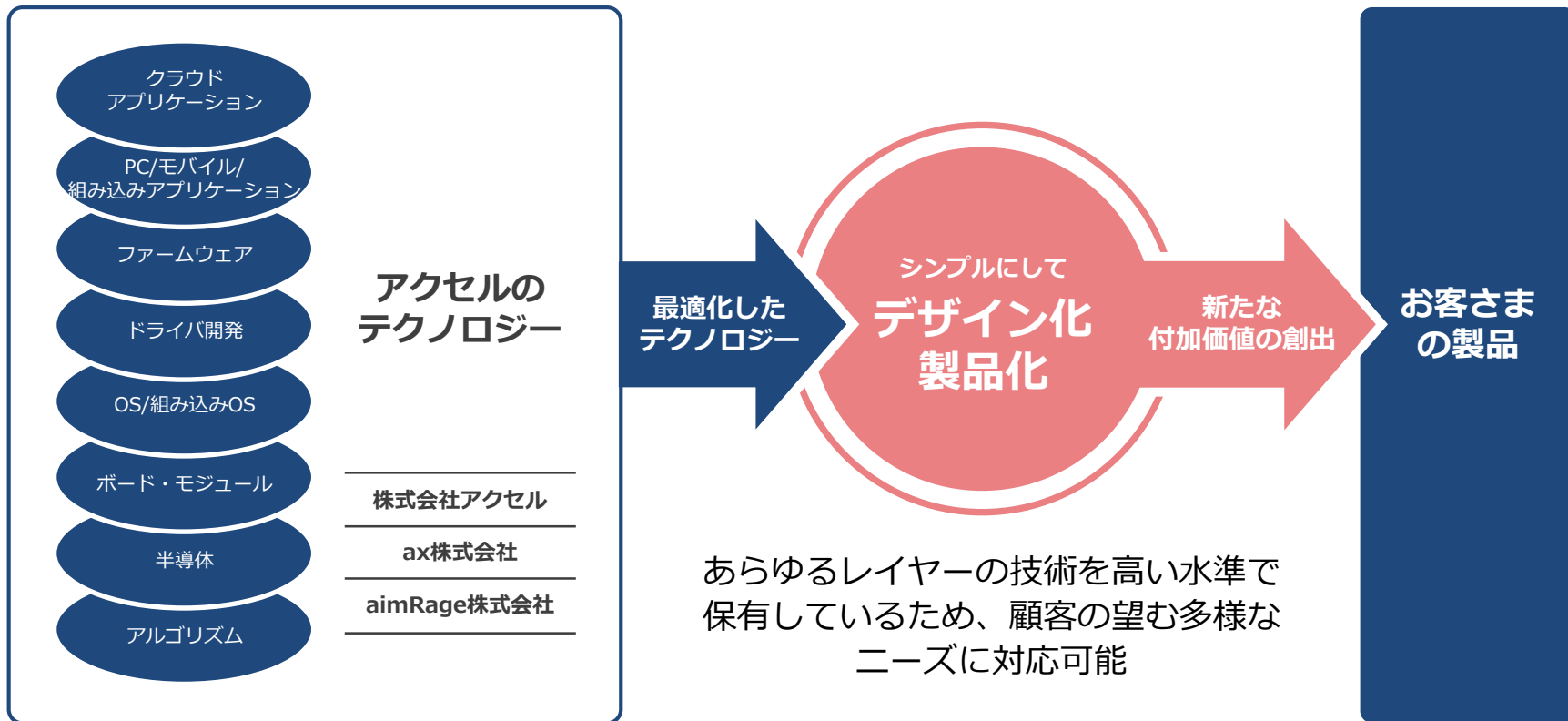
- 長年遊技機市場に特化してきたこと
- 顧客との盤石な信頼関係



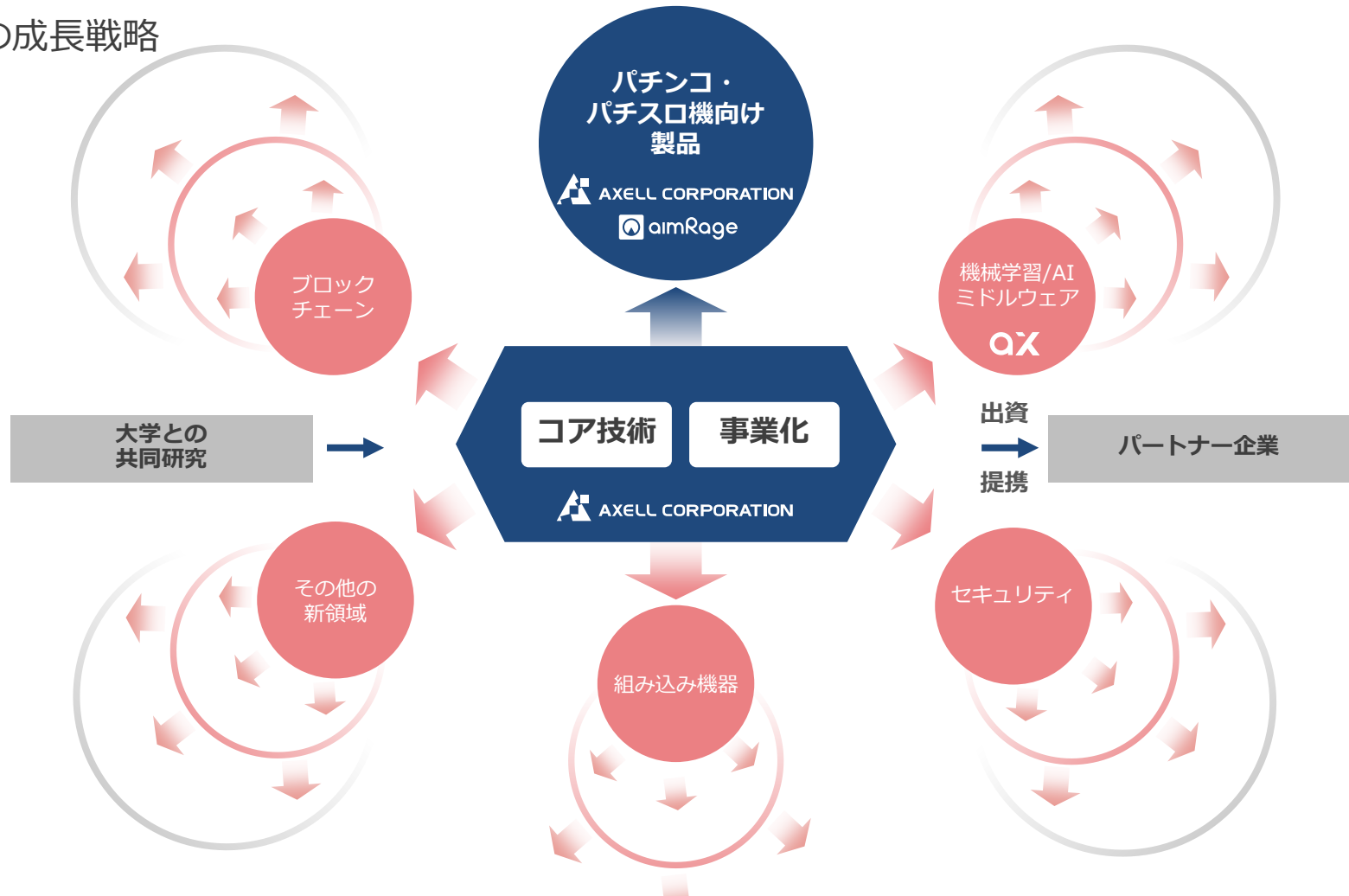
20 パチンコ・パチスロ機向けのLSI開発から新規事業への展開



21 多様なビジネスを可能にするアクセルのテクノロジー

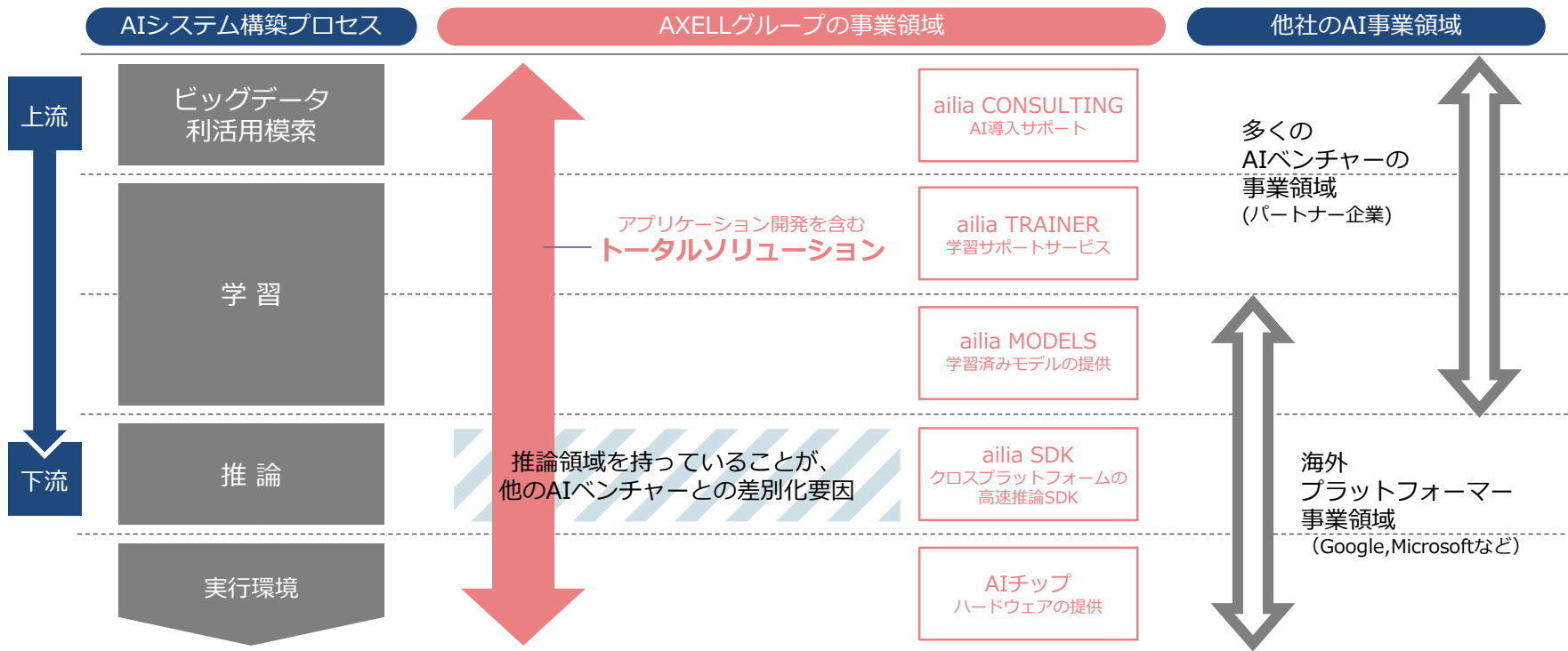


22 今後の成長戦略



23 新規事業：当社のAIの優位性 ユニークな立ち位置

AIを使ったシステムの構築には「学習」と「推論」のプロセスが必要で、「推論」フレームワークを持っているAI事業者は少ない



24 新規事業：機械学習/AI ビジネスモデル

独自開発のエッジ推論向けディープラーニング・フレームワーク「ailia SDK」を中核に展開

独自開発のAIフレームワークを用いた開発支援からロイヤリティビジネスへ

世界最高水準の性能を誇る ailia を起点に、
AIに関する広範な業務の開発支援からスタート



フレームワークの販売と 開発支援の積上げ

ディープラーニング・フレーム
ワークの販売/AI実装のコンサル
ティング

学習済みモデルの蓄積と応用

ターゲット

ソフト開発会社、
製造業・サービス業等

ソリューション パッケージの提供

ailiaとセットで学習済みモデル
やAI製品を販売/パートナー企
業と共同で用途別モデルを開発

ビジネスモデルの進化

販売&ロイヤリティUP

ロイヤリティ ビジネスの構築

普及させた ailia の
ロイヤリティで安定収益

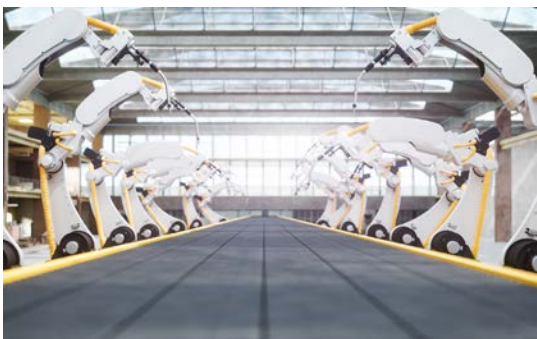
規模のメリット

25 新規事業：機械学習/AI領域における今後の注力市場

注力市場

1

ファクトリーオートメーション



**ailia SDKを内包する学習から
推論までのプラットフォームの提供**

画像検査
(AIによる自動化・高精度化)、
故障予知

注力市場

2

監視カメラ



ailia APPS 監視カメラ向けのAI統合プラットフォーム

ailia APPSの提供

侵入検知、不審行動検知、
マーケティング

注力市場

3

スマートモビリティ



ailia SDKを使用した開発受託

自動運転、自動運転車椅子、
ドライブレコーダ（危険行動通知）、
デジタルミラー、商用車の安全運転

26 新規事業：自動運転向けAIチップの研究開発（機械学習 / 組み込み機器）

NEDO公募事業の一環として研究開発プロジェクトを推進



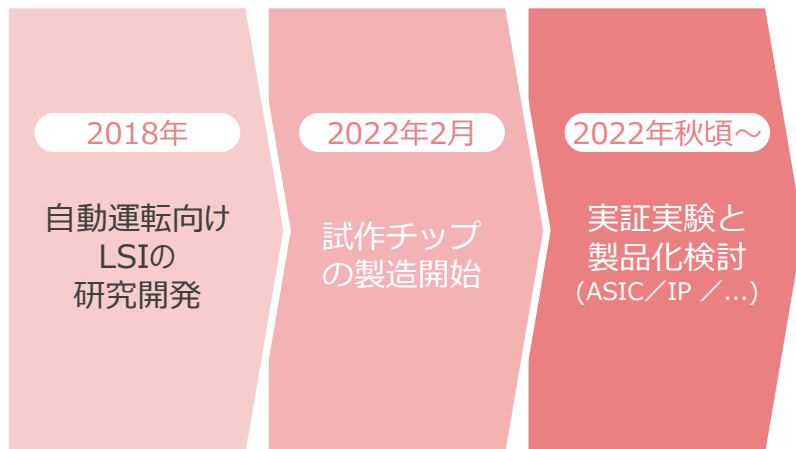
テーマ 高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発

研究開発 最先端の自動運転システムを開発している（株）ティアフォー（出資先）を筆頭に推進

プロジェクト推進体制

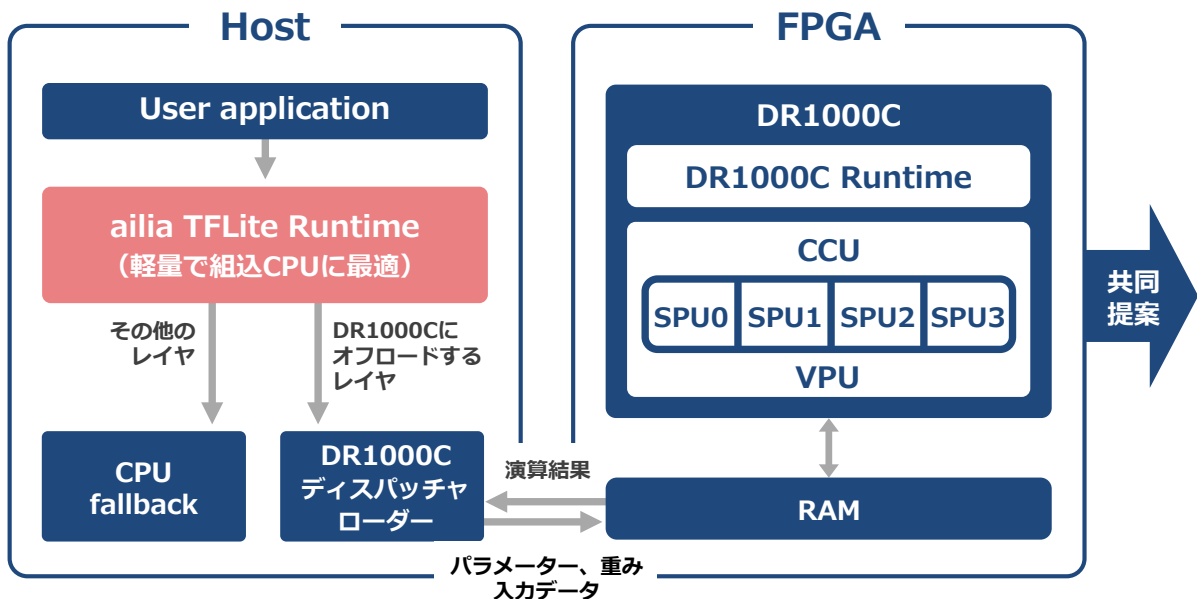


完全自動運転に向けたロードマップ

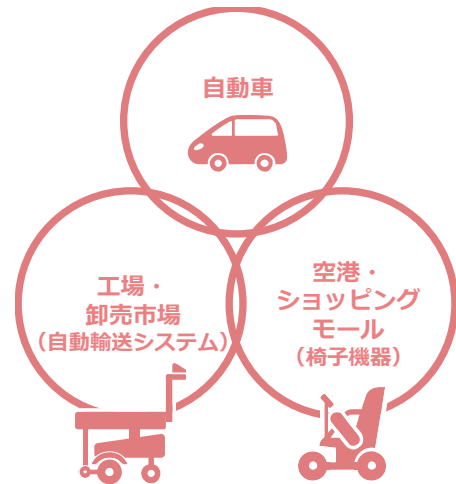


AIチップとして製品展開を模索、自動運転をはじめAIを利用する様々な分野への展開

NSITEXEが開発するDFP（Data Flow Processor）「DR1000C」に、
AIフレームワーク「ailia SDK」を実装する開発協力



モビリティ業界のDXなど、
人々の生活を豊かにする世の中の革新に貢献



共同提案

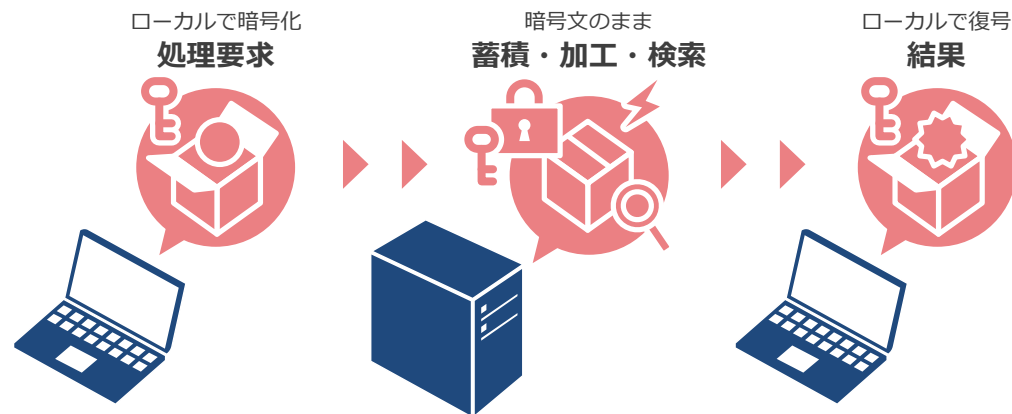
NSITEXE は、2017 年に株式会社デンソーからスピノフして設立した先進的なプロセッサを開発する IP ベンダです。
FuSa（機能安全）に対応した RISC-V ベースのプロセッサ IP を開発しています。

28 新規事業：セキュリティ領域での要素研究（今後の事業への種まき）

完全準同型暗号※TFHE の高速化に関する論文を京都大学と共同発表（2021年11月）

システム概要図

暗号化したデータをサーバ/クラウドに置き、ユーザは暗号化した検索キーワードをサーバ/クラウドに送り、暗号化したデータ同士で演算処理を行う。サーバ/クラウド側は、演算処理の内容を知ることなく、ユーザに演算処理結果を返す仕組み。



データベース・処理要求が秘匿 独自の演算最適化で高速処理を実現

応用が
期待できる
分野

自治体、医療、インターネットバンキング



※完全準同型暗号：加算と乗算を含む任意の演算が可能な秘匿演算技術

機械学習 / AI

ミドルウェア

2021年4月

- NTTドコモが実用化を推進する、久留米工業大学の「対話型AI自動運転車いすパートナーモビリティ」の自律走行・遠隔制御向けの映像認識AI及びアプリケーション開発に協力

2021年6月

- エヌエスアイテクス（NSITEXE）と新たなパートナーとして組込み機器に向けたAIソリューションを共同提案

2021年9月

- コニカミノルタと画像 IoT/AI サービス提供でパートナーシップを締結

2021年10月

- ルネサスの「RZパートナエコシステム」にAIパートナーとして参画

2021年11月

- axがArm AI Partner Programに参加

2022年1月

- AIソリューション「ailia」がアプトポッドの「intdash」に対応

2022年3月

- 組み込み機器向けOS「Axell Linux」をリリース

2022年4月

- 日本エンタープライズと業務提携を締結（AI及びブロックチェーン領域）

セキュリティ

2021年5月

- SHALO LICENSING が Linux 及び Apple 製 CPU 「M1 チップ」 バイナリに対応

2021年6月

- Google 等のログイン認証及び VPN や SSH 接続時の秘密鍵を安全・簡単に管理する USB セキュリティキー「SHALO AUTH」の販売を開始

2021年11月

- 完全準同型暗号 TFHEに関する論文を共同発表

ブロック チェーン

2021年8月

- ブロックチェーンの活用例を紹介するデモアプリ「Blockchain Showcase」を開発

2022年1月

- CryptoLabの第三者割当増資を引き受け（ブロックチェーン領域で協業）

31 | 新たなステージに向けて、企業理念を刷新

パチンコ主体のファブレス半導体企業から、
世の中の革新に貢献する **先端テクノロジー企業** へ





本資料に記載の予想数値を含む将来に係る情報は、現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の一部または全部を弊社の許可なく、転載・複写することのないようお願い申し上げます。